

飛鳥

A S U K A

飛鳥とクルーズを愛する人のための
クラブマガジン

NO.97 AUTUMN

飛鳥

A S U K A
飛鳥とクルーズを愛する人のためのクラブマガジン
AUTUMN NO.97

2018年8月20日発行

発行/郵船クルーズ株式会社 ASUKA CLUB事務局
〒220-8147 横浜西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー47階 TEL.045(640)5302
発行人/坂本 潔
ホームページ <https://www.asukaclub.co.jp/>




ASUKA CLUB

悠々と煙をあげる桜島

鹿児島港は日本でも有数の美しい港だ。

大隅半島と薩摩半島に挟まれた錦江湾は自然豊かで
野生のイルカをはじめたくさんの生き物が棲息している。

湾の入口には美しい円錐形をした開聞岳、そして湾の奥には白い煙をあげる桜島がある。

活火山のすぐ近くに都市があり、人々が火山と共生しているのは世界でも珍しいことらしい。

世界中のクルーズ船がこの絶景を見にやってくるという。

多少の噴煙ぐらいでは、鹿児島の人たちは何食わぬ顔。

船から見上げる桜島は、今日も悠々と煙を上げている。



波の間に間に、日本再発見

Rediscovery of Japan

photo by Takehiro Nakamura

太陽がふりそぐ常夏のハワイ。氷河が青白く光を放つアラスカ。

この対照的な大自然を40日間のクルーズで楽しむことができるハワイ・アラスカ グランドクルーズ。

初代飛鳥の人気クルーズをさらに魅力的に進化させました。

飛鳥IIにゆったりと身をまかせ、太陽と氷河の壮大な物語をどうぞお楽しみください。



特集◆2019年ハワイ・アラスカ グランドクルーズ

太陽と氷河の物語

Hawaii & Alaska Grand Cruise 2019

Hawaii 太陽

がふりそ そぐ アロハ・ステートでのんびり4島クルージング



Honolulu

オアフ島



まだ知らないホノルルの
楽しみ方をお教えます

オアフ島の入港風景は見ごたえがあります。ダイヤモンドヘッドは上空から見ると巨大なクレーターですが、海から眺めると切り立った崖のよう。しだいにワイキキビーチの高層ホテル群も見えて、ホノルル滞在への期待が高まります。ホノルルでは1泊停泊します。「ホノルルへはもう何回も行ったから」というお客様も多いと思います。そんな方には、フラやウクレレ、ハワイアンキルトなどのハワイアンキャラクターを体験できるツアーを企画しています。

Nawiliwili

カウアイ島

途方もなく長い時が刻んだ
壮大な景色に圧倒される

カウアイ島は4島の中で最も古く、約500万年前に海底のマグマが噴火してできた島です。島の9割で車の立ち入りが禁じられており、手つかずの自然が残る秘境です。「太平洋のグランド・キャニオン」と呼ばれるワイメア渓谷。ハワイの言葉でワイメアは「赤い水」を意味します。全長16キロのこの渓谷は何万年もの時をかけて、噴火と洪水を繰り返してできました。切り立った岩山と深い渓谷の上には抜けるような青空が広がります。

写真提供:ハワイ州観光局



Hilo

ハワイ島



オールドタウンを散歩して
古きよきハワイを楽しむ

ハワイ島は「ビッグ・アイランド」の愛称にふさわしくスケールの大きな島です。美しいビーチはもちろん、標高4,205メートルのマウナ・ケア山がそびえます。晴天率が高く、世界で最も天体観測に適した地と言われ、日本のすばる展望鏡も山頂に設置されています。ヒロはサトウキビ農家として海を渡った日系人が作った街です。ホノルルに次ぐハワイ第二の都市なのですが、規模はだいぶ異なり、のんびりとしたノスタルジックな雰囲気です。

Lahaina

マウイ島

捕鯨で栄えた港町で
のんびり過ごそう

マウイ島はもともと二つの島だったものがハレアカラ火山の噴火によって、一つの島につながりました。現在は休眠山となったハレアカラの巨大クレーターは、NASAアポロ計画の宇宙飛行士が月面着陸の訓練をしたことでも有名です。飛鳥IIが寄港するラハイナは、かつて捕鯨拠点として栄えた港町です。現在の街並にもその黄金時代の面影が残っています。海沿いにのびるフロント・ストリートには、レストランやギャラリー、ショップなどが軒を連ねます。

写真提供:ハワイ州観光局



Alaska 氷河

を抱くラスト・フロンティア 冒険気分でクルージング



College Fjord

カレッジフィヨルド

永遠とも思える時を経て
今、海へと崩れる圧倒的な存在感

プリンス・ウィリアム湾に入った飛鳥IIはカレッジフィヨルドの最深部へと、ゆっくり進んでいきます。一番奥がハーバード氷河で、向かって右側の氷河は男子大学、左側は女子大学の名前がついています。是非ピスタラウンジからその大パノラマをお楽しみください。

氷河は高く降り積もった雪が何万年もかけて圧縮されて氷となり、徐々に陸地から海へと押し出されたものです。氷河がついに海へ崩落するとき、遠雷のような音が響きます。これがホワイトサンダーです。



Hubbard Glacier

ハバード氷河



フィヨルドの奥へ進むと
目の前に巨大氷河が

ディスエンチャントメント湾の水路を進んでいくと、前方から氷塊が流れてきます。少し大きな氷塊の上には、ゼニガタアザラシがごろんと転がって日光浴をしています。海の上にぶかぶか浮いているのはラッコたち。海の生物を観察するために双眼鏡を持っていくのを忘れなく。

さらに奥へ進んでいくと、目の前に北米大陸最大級の氷河が見えてきます。ハバード氷河は高さ90メートル、幅10キロ、全長120キロ。今も1年間に30メートルのスピードで前進して大きくなっているめずらしい氷河です。



Ketchikan

ケチカン

サーモンのメッカで
シーフードに舌鼓を打つ

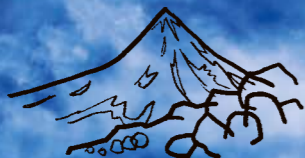
飛鳥IIはバンクーバーを出港した後、大小1000以上の島々からなる美しい多島海、インサイド・パッセージをクルージングしながら、初寄港のケチカンへと向かいます。ケチカンはサーモン漁で栄えた町なので、地元のレストランでサーモンやカニなどの新鮮なシーフードを楽しむのもよいでしょう。もう少し冒険してみたい方は、水上飛行機に乗って、ミスティフィヨルドの大自然を楽しむオプションツアーはいかがですか。



Petropavlovsk-Kamchatsky

ペトロパブロフスクカムチャッキー

カムチャッカ富士を眺め 極東ロシアの街を散策



カムチャッカ半島は日本とほぼ同じ面積。その中に、なんと約160もの火山があります。カムチャッカの火山群は「火山の博物館」と言われるほどタイプも様々で、世界自然遺産にも登録されています。美しい稜線から「カムチャッカ富士」と呼ばれる標高約2700メートルのアバチャ山は市内からもよく見えます。クルーズの最後の寄港地、ペトロパブロフスクカムチャッキーでは、クルーズ特典として、市内観光ツアーへお客様をお連れします。



Canada & Russia

さらにカナダとロシアにも寄港します



Victoria

ビクトリア

花あふれるガーデンシティ 馬車で英国庭園をめぐる

カナダのビクトリアは初寄港です。英国の影響が色濃く残り、「ガーデンシティ」の愛称にふさわしく、街並には美しい花があふれています。見所の多い街ですが、中でもブッチャート・ガーデンがおすすめです。20世紀初頭にセメント王と言われたブッチャート氏の妻、ジェニー・ブッチャートが荒れ果てた石灰岩の採石場を見事な庭園に変身させました。四季折々の花に彩られた美しい庭園を馬車に乗って巡るオプションツアーを特別にご用意しました。



Cruise info

2019年 ハワイ・アラスカ グランドクルーズ

[横浜発着] 2019年6月3日(月)~7月12日(金)40日間

6/3 月	横浜	日本
4 火~10 月	終日クルージング(日付変更線通過)	
11 火	ナウイリウィリ/カウアイ島 飛鳥II初寄港	アメリカ
12 水・13 木	ホノルル/オアフ島	アメリカ
14 金	ラハイナ/マウイ島[錨泊]	アメリカ
15 土	ヒロ/ハワイ島	アメリカ
16 日~21 金	終日クルージング	
22 土	ビクトリア 飛鳥II初寄港	カナダ
23 日	バンクーバー	カナダ
24 月	終日クルージング	
25 火	ケチカン 飛鳥II初寄港	アメリカ
26 水・27 木	終日クルージング	
28 金	ジュノー	アメリカ
29 土	スキャグウェイ	アメリカ
30 日~7/7 日	終日クルージング(日付変更線通過)	
7/8 月	ペトロパブロフスクカムチャッキー[錨泊]	ロシア
9 火~11 木	終日クルージング	
12 金	横浜	日本

[錨泊]テンドーボートまたは地元のボートで上陸予定です

早めのご予約がお得です!

「グランド特別割引」適用後の旅行代金
1,572,000~7,980,000円

2018年10月31日(水)までに全額お支払いのお客様は
旅行代金が**20%割引**でご利用いただけます。
[客室番号のご希望をお受けできません]

「早期全額支払割引」適用後の旅行代金
1,670,000~8,478,000円

2018年12月28日(金)までに全額お支払いのお客様は
旅行代金が**15%割引**でご利用いただけます。
[客室番号のご希望をお預かりいたします*]

「早期申込割引」適用後の旅行代金
1,748,000~8,877,000円

2019年2月28日(木)までにお申し込みのお客様は
早期申込割引の旅行代金でご利用いただけます。
[客室番号のご希望をお預かりいたします*]

通常代金 1,965,000~9,975,000円

●表示の旅行代金は客室をお二人様でご利用の場合の一人様の代金です。●国際観光旅客税を含みます。●旅行代金の詳細はホームページやパンフレットをご覧ください。★客室番号の最終決定は乗船券発券時に確定します。ご希望にそえない場合もございますのであらかじめご了承ください。

多彩なゲスト



文藝春秋 × 飛鳥II
コラボレーション
直木賞作家
東山彰良
横浜→ホノルルに乗船



ボサノヴァ
小野リサ
横浜→ホノルルに乗船



ジャズ・ヴァイオリニスト
寺井尚子
横浜→ホノルルに乗船



GODIEGO
ミッキー吉野 & トミー・スナイダー
ヒロ→バンクーバーに乗船



リストランテ アルポルト
片岡 護シェフ
ホノルル→バンクーバーに乗船



スタッフのおすすめ

**ハワイとアラスカの
いいとこどり**

小町武義 営業チーム

飛鳥IIは世界一周クルーズの最後に、ハワイかアラスカに立ち寄ることが多いですが、今回は40日間で両方を巡ります。

なんとと言っても、アラスカのフィヨルドクルーズが最大の見所でしょう。飛鳥IIは約1週間かけてアラスカのフィヨルドを北上していきます。鏡のように静まった南のフィヨルドから、青い氷河が流れる北のフィヨルドまで。徐々に表情を変えていくフィヨルドを、飛鳥IIの船上からご体感いただけます。

ハワイの4島巡りも初めてです。個人的にはマウイ島ラハイナののんびりとした雰囲気が好きです。歩いて回れる町なので、ぜひ散策を楽しんでいただきたいです。

こまち・たけよし 神奈川県出身。06年アシスタントパーサーとして飛鳥IIに乗船。その後、アシスタントハウスキーピングマネージャー、本社運航部、エクスクーションマネージャー、ファーストパーサーを経て本社営業チームに。エレキベースの腕前はプロ並み。

人生を楽しむ
お客様の気力体力に
感服しました

飛鳥Ⅱのような客船に乗ったのは初めてです。時間とお金がある方の楽しみとして、船旅こそが頂点だと昔から聞いていました。今回その理由が分かったような気がします。

4泊5日の船旅でしたが、台湾の基隆から鹿児島の間がちょっと揺れました。私は釣りが好きなので、釣り船などにも乗りますし、船は強い方。でも、船内では杖をついていらっしゃる方もお見かけしたので、皆さん大丈夫なのかなと思っていました。

翌朝10時から私の講演だったので、皆さんお元気でけろりとしていらっしゃる。朝ご飯もきっちり召し上がっているし、大したものだなと感心しました。どうもお見それいたしましたという感じですよ。考えてみれば、人生を楽しむために飛鳥Ⅱに乗っておられているのだから、当然そのためには気力体力がなければなりません。飛鳥Ⅱに乗るぐらいの方は、お年を取られても気力体力ともにあるんだなとつくづく思いましたね。

Photographs:Tetsuya Oomuro



南西諸島・台湾クルーズに文藝春秋とのコラボレーション企画で直木賞作家の大沢在昌さんが乗船。「ミステリーと私」と題した2回の講演でお客様を楽しませていただきました。

My Favorite
ASUKA CRUISE INTERVIEW

大沢在昌さん

©文藝春秋



大ヒット作「新宿鮫」の誕生秘話なども話してくださいました。

そして、飛鳥Ⅱに乗られるような方は間違いなく舌が肥えていらっしゃるだろう。特に和食などはおいしくなければお客様を満足させられないだろうと思っていました。それが、毎日食事をいただいで本当においしかったです。量もちょうどと考えられていて、多すぎず少なすぎず。毎日丁寧につくられていて、本当に感心しました。

船旅の楽しみの 初歩の初歩を 味わせていただいた

石垣を出港する時に、船を押してくれていたタグボートが任務を終えて飛鳥Ⅱから離れていく時に汽笛を鳴らしました。それに飛鳥Ⅱが汽笛を鳴らして応える。まさに海の男の世界だなと思って感動しましたね。基隆へ入るときも、朝ふと目を覚ましたら船が止まっているのかなというくらい静かになっている。キャビンのカーテンを開けてみると、細長い水路を飛鳥Ⅱがゆっくりと進んでいくところでした。正面に大きな白い観音様が見えてきて、仏塔や街のビルもだんだんと近づいてくる。

飛行機であれば着陸するといきなりそこに街がある。船で港へ近づくとのは全然違う醍醐味がありますね。船が着岸するまでの間、街はずっと見えてくるけれど、時間が来て準備が整うまでは降りられない。「さあ、下船できますよ」

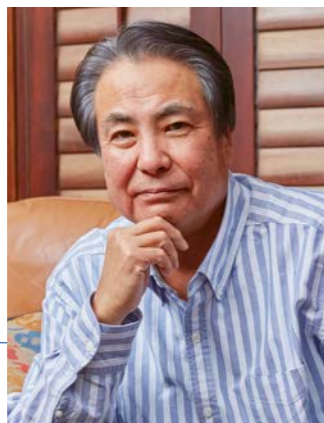
と言われたときのわくわく感。船旅の好きな人はこの気持ちで国内だろうと国外だろうと毎回感じていらっしゃるんだらうなと思いました。私なんか飛行機での旅行に慣れているから「早く降りてくれないかな、早く街に行きたいのにな」と思ってしまうのだけれど。せっかくなつぷりと時間をかけて船で行く場合には、そんなせこいことを言っちゃいかんよという世界ですね。

から手を振り返してくれました。そういうのもなんだかうれしいですね。飛行機では手を振ったって誰にも見えやしない。今回はまさに船旅の楽しみの初歩の初歩を体験させていただいたなという印象です。この先の奥深いものは私にはまだまだだなと感じました。

※2017年12月、6デッキマリナーズクラブにて。



とにかく船旅は風情がありますね。今朝も並行して走る船の船員さんが見えたので手を振ったら、向こうもデッキ



Arimasa Osawa

- 1979年 第1回小説推理新人賞を「感傷の街角」で受賞し、デビュー。
- 1986年「深夜曲馬団」で日本冒険小説大賞最優秀短編賞受賞。
- 1991年「新宿鮫」で第12回吉川英治文学新人賞と第44回日本推理作家協会賞長編部門受賞。
- 1994年「無間人形 新宿鮫4」で 第110回直木賞。以降、ベストセラーを次々と執筆。
- 2014年「海と月の迷路」で第48回吉川英治文学賞受賞。



飛鳥IIの太陽、キャビンスチュワーデスの1日

お客様にとって最も身近なクルーと言えば、キャビンの清掃やベッドメイキングを担当するキャビンスチュワーデスたち。今回は、いつも明るく元気に働く彼女たちの1日を追いかけてみました。

お客様の気持ちを感じとる

キャビンスチュワーデスの朝は打ち合わせから始まります。キャビン(客室)のマスターキーと船内専用PHSを受け取り、今日の注意事項などを確認。そして、各自担当キャビンの清掃準備を始めます。平均で10〜12部屋を1名が担当していますが、ロイヤルスイートは1名で2部屋を受けもちます。朝の清掃ではキャビンに掃除機をかけ、ベランダとバス、トイレを清掃、リネンやタオル、アメニティを交換し、お部屋のゴミを捨て、冷蔵庫の飲み物も補充します。お客様の生活リズムに合わせて、朝の清掃はお昼ぐらいうちに終わっています。

夜になると、カーテンを閉めてお客様がすぐにお休みになれる状態にベッドを整えます。さらに、ゴミを捨て、タオルやアメニティを補充し、アイスペールに氷を準備します。夜も各デッキ毎に打ち合わせを行い、次のクルーズで乗船されるお客様のリクエストなどを確認します。

「お客様のご要望に応えるのは当たり前のこと。そこからさらに、お客様の気持ちを感じとる力が必要とされます」と菅原ハウスキーピングマネージャー。例えば、デイナー前にお客様が着替えをされて、脱いだカーディガンや着替えをベットの置きっぱなしにされたらとします。お掃除に入ったキャビンスチュワーデスはそれを見つけて、そっと壁のハンガーに掛けておく。その行為自体にお客様は気づかれないかもしれませんが、飛鳥IIではこういった決してマニュアル化できないサービスを心がけているのです。

半年間研修を受けています。基本的な日本語の挨拶や礼儀作法に加えて、飛鳥IIのキャビンと同じようにつくられた部屋で掃除の仕方などを学びます。実際に飛鳥IIに乗船すると、最初はパブリックスペースの清掃を担当するユナイテッド部門に配属され、働きぶりなどを見て、徐々にキャビンを割り当てられるようになるそうです。お客様と直接接する機会が多いキャビンスチュワーデス。常に明るく元気にお客様にご挨拶するよう心がけています。最近特に力を入れているのが、お客様のお名前をおぼえることです。日本語勉強中の彼女たちですが、気軽に声をかけてください。

飛鳥IIで働く誇りを持ち常に明るく元気に

クルーズ中は昼間に休み時間があるので、寄港地で外出する人もいれば、昼寝をする人もいます。日本語を勉強したり、仲間とおしゃべりしたり。きちんと休憩することも、仕事を続けていく上では大切だと、菅原ハウスキーピングマネージャーは言います。「彼女たちは8か月働いて、2か月休暇を取ります。家族と離れてさびしい時もあるでしょう。私も常に声をかけるようにして、働きやすい環境づくりを心がけています」

彼女たちは、飛鳥IIに乗船する前にフィリピンのトレーニングセンターで

お客様の高い期待に応えたい



ロイヤルスイートを担当しています。とても責任のある仕事なので、担当になったばかりの頃はちょっと緊張しましたが、今は慣れてきました。お客様の高い期待に応えられるよう努力しています。飛鳥IIはクルーのチームワークがよく、とても働きやすい職場です。フィリピンの家族のために、飛鳥IIで誇りを持って働いています。

キャビンスチュワーデス **ダイリン Daikin**
フィリピン、ネグロス島出身。別の日本船で働いていたが、夫が飛鳥IIで働いていたため、2011年から飛鳥IIに乗船。12歳と6歳の娘がいる。日本食はラーメンが好き。好きな港は横浜。



デッキ毎の朝の打ち合わせ。皆、真剣な表情で聞いています。



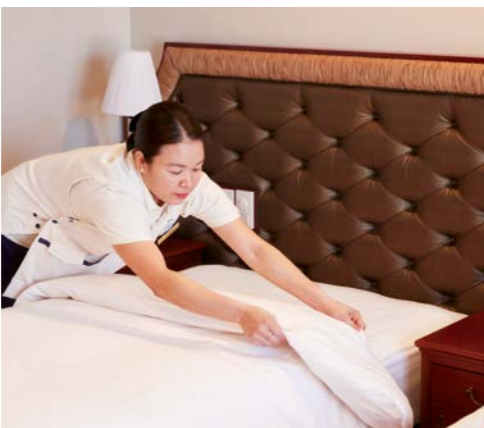
避難訓練ではキャビンにお客様が残っていないかをチェック。



海からの波や風で塩が付くのでベランダはまめに洗浄しています。



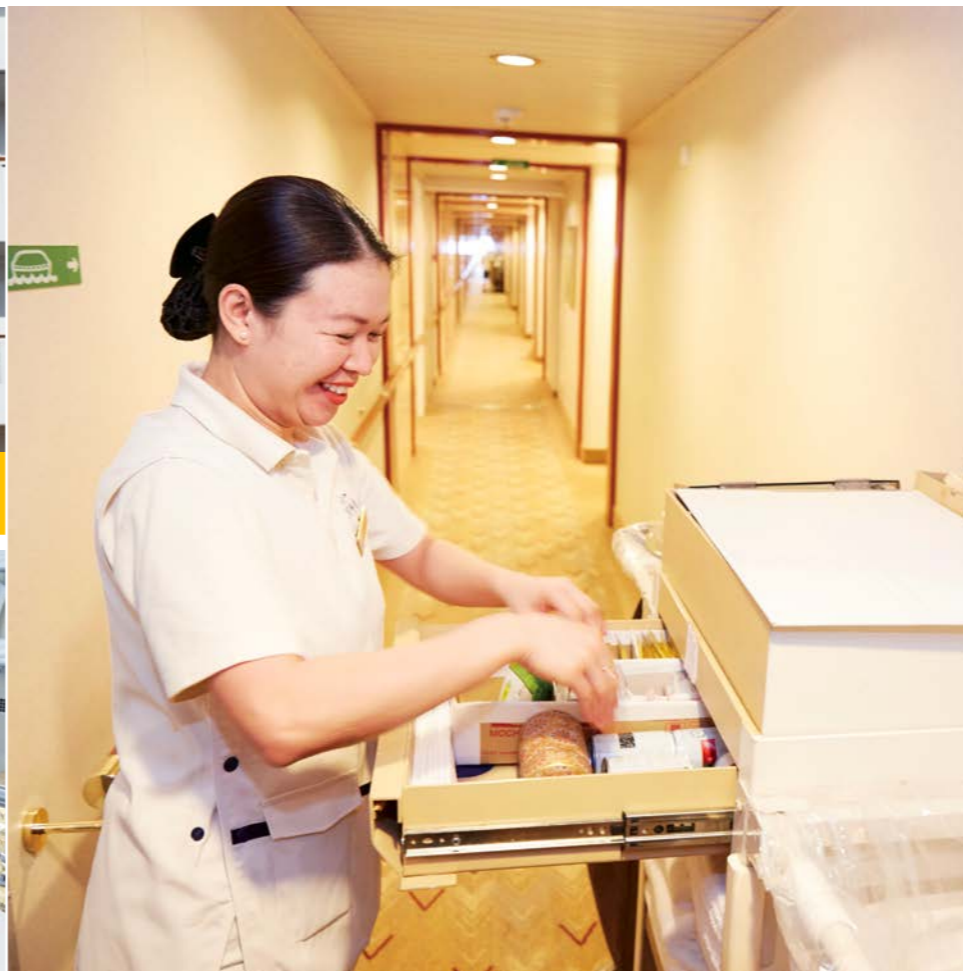
パントリーではスイートルームのお客様用の朝食を準備します。



夜はすぐお休みになれるようにベッドを整えておきます。



気持ちよくお過ごしいただけるようシンクまわりは常に清潔に。



飛鳥IIでの仕事は日本語が難しいけれどやりがいがあると笑うダイリンさん。

アスカクラブ会員限定 大人の時間を楽しむクルーズ

いつも飛鳥IIを愛してくださっている会員の皆様
「アスカクラブクルーズ」は、そんな会員の皆様を対象とした限定クルーズです。
毎回様々なテーマを企画して、新たなクルーズの楽しみ方をご提案しています。
今年の1月には、大人の時間を楽しむことをテーマにした2泊3日の「アスカクラブクルーズNext」が行われました。

横浜港の夜景を眺めながら 大人の時間が始まった

関東地方にははめずらしく雪が積もった1月末。残雪の残る横浜港から、一步飛鳥IIの中に足を踏み入れると、いつもよりもいっそう華やいだ雰囲気に包まれました。

それもそのはず、これから3日間、アスカクラブ会員の皆様限定のラグジュアリーなクルーズが始まるのです。初日のドレスコードはインフォーマル。今回のクルーズの目玉とも言える「マリアージュディナー」に向けて期待が高まります。

マリアージュとはお料理とお飲み物を最高の相性で組み合わせること。フランス語で結婚を意味し、2つの異なるものがあつかもひとつの存在のように調和した状態を言います。

より上質でより贅沢な 夜の過ごし方を味わう

2日目は清水港に寄港しましたが、

初日は、飛鳥洋上会席です。日本ソムリエ協会副会長の君嶋哲至さんが、3種の日本酒を厳選。お料理の進みぐあいに合わせてそれぞれの日本酒が、ワイングラスにつがれました。もちろん、お酒をたしなまれないお客様にも、3種のポトルドティーが用意されました。

和食ではなかなかめずらしい体験だったのではないのでしょうか。みなさんお料理とお飲み物の相性をゆっくりと味わっていらっしやいました。

その間も船内イベントが目白押しです。朝から、楽しいオチオエクササイズで、筋肉を目覚めさせます。そして、今夜のディナーにそなえてフォーマルメイク講座も開催。気分が華やぐメイクのコツを教えてくださいました。

その他にも、社交ダンス教室、ポストカード作り教室、カジノ教室、チェス教室、イカ跳ばし大会なども開催されました。「今回のクルーズは本当に盛りだくさんね!」とお客様もびっくりでした。そして、2日目は夕焼けに染まるパームコートでディナーの前に食前酒を楽しむアペリティフタイムがありました。ナマナの演奏が始まると、ご夫婦でダンスを楽しまれる方も。その後は、ギャラクシーラウンジで「いちむじんの」ジャンルを超えた迫力のステージに魅了されました。

待ちに待ったディナーはフレンチです。ワインの世界は奥深く、ワイン選びはなかなか難しいものですが、今夜もソムリエの君嶋さんが選んでくれています。ワインそれぞれの味わいの違いや、お料理との相性などを意識すると、五感が研ぎ澄まされたような感覚で、ディナーを楽しむことができました。



1



3



2

- 1 マリアージュディナーが始まる前にアペリティフタイムを楽しむお客様。
- 2 国内外の競技会で活躍された田中・入江ペアによるデモンストレーション。
- 3 ジャンルを超えた音楽でお客様を楽しませた「いちむじん」のコンサート。

予告 アスカクラブクルーズNext 2018年12月26日(水)~28日(金)

次回のNextはウェルネス(健康)をテーマにした2泊3日のクルーズです。美と健康を意識したお食事ももちろん、活動的に身体を動かすアクティビティや健康に関するお役立ち講座なども多数企画しております。ドレスコードはスマートカジュアル。2018年の締めくくりには、是非ご参加ください。

※詳細は同封のパンフレットをご覧ください。

フルートとハーブの生演奏で優雅なひととき 和食と日本酒のマリアージュを堪能



笑顔のあふれるオチオエクササイズ



フォーマルメイク教室では皆さん真剣



夕暮れのパームコートではダンスタイム



アスカクラブの幅野会長もご挨拶



駿河湾からは富士山も

